

稔りの風

令和6年10月25日

校訓 公正 明朗 剛健



妹背牛町立妹背牛中学校 学校だより

NO. 8



流れもってこい!

校長 渡邊 現

10月11日に教育活動の前期を終業しました。保護者の皆様、地域の皆様には、こうして本校の教育に多くのご支援を賜りご協力いただきましたことに深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

10月15日から後期の教育活動がスタートしています。生徒会も先日後期の役員が選出されました。

- <教育目標>
- 確かな学力を身につける生徒
 - 正しい判断と強い意志で行動する生徒
 - たくましい身体をつくりスポーツを楽しむ生徒
 - 豊かな心情を持ち社会に参加する生徒

この教育目標は、本校が目指す生徒の姿そのものをまさに表しています。4月より、生徒とは折に触れて「公正・明朗・剛健」の校訓と照らして教育目標の具体を共有してきたところです。中でも、「剛健」に関わっては、「発揮する」を具体のキーワードとして生徒と共有する場面がたくさんありました。

「どうせむり。私なんて…。と自分を決して見下さないでください。または、あいつのせいだ、と頑張れない自分を他人事にしないでください。発揮するためには、自分事として、ねらいを定めることが肝要です。良さを発揮している自分のことを、良さを発揮している友達のことを、お互いに称え合おう。」と、その時々には照らして話題にしてきました。生徒は、学校祭、体育大会、テスト、部活、旅行的行事、などなど、前期のコアとする様々なカリキュラムの各場面で「発揮する」を自分事として見つめて、大いに成長しています。

「運が悪い」、「流れが悪い」、「あいつのせいだ」、「あれさえなければ」、「私なんてとても」、「どうせ無理です」などなど。自分を省みれば、ダメな理由を弁解する言葉とは、なんとも、どんどん溢れ出てくるものです。きっと「人間なもの」だからなのかもしれませんが、私には、ひとたび油断すれば、まだまだどんどん湧き出てくる気がします。しかし、こうして中学生と向かい合えば、中学生には前向きな言葉を投げかけたくなるのです。実現してほしくなります。そんな気持ちが溢れます。私たち大人にとって中学生とは、自己を見つめ直し内なる前向きな希望や真心を引き出してくれる存在であるように思います。

「流れもってこい。流れもってこい。流れ！流れ！流れ！流れ！流れもってこい！」。友に訴える、この熱き応援です。中体連で聞きました。実際、我が妹背牛中学生は、この声援に奮い応じて流れを持ってきました！ひとたびチームとして整ったとき、流れとは本当に持ってこれるものなのだ、と実感した場面でした。「実は、勉強でも、生活でも、友と支え合えば流れは自分の手で持ってこれる！」ということも、ぜひ中学生に実感してもらいたいと思います。後期、中学生とともに実現していきたいと思います。

学校へのお手紙はこちらでも → E-mail: mosetyu@lion.ocn.ne.jp

11月の予定

11月22日(金)は小中いじめ撲滅交流集会です。どうぞお越しください

1	金	教育相談月間 1年PTA親子レク	6時間授業	16	土	バスケ深川会長杯	
2	土	バスケU15全道大会 バレー協会会長杯		17	日	バスケ深川会長杯	
3	日	文化の日 バスケU15全道大会		18	月		6時間授業
4	月	振替休日		19	火	3年進路説明会 SC9:00~15:00	6時間授業
5	火	教推協	5時間授業	20	水		6時間授業
6	水		6時間授業	21	木		6時間授業
7	木	学力テスト(総合C)	6時間授業	22	金	小中いじめ撲滅交流集会 (中学校体育館 13:30~14:30)	6時間授業
8	金		6時間授業	23	土	勤労感謝の日	
9	土	北空P連研究大会(滝川)		24	日		
10	日			25	月	全体研修③ 学校教育指導訪問	5時間授業
11	月	職員会議(定例)	5時間授業	26	火		6時間授業
12	火	テスト前部活動中止 SC12:30~17:30	6時間授業	27	水		6時間授業
13	水	テスト前部活動中止	6時間授業	28	木		6時間授業
14	木	テスト前部活動中止	6時間授業	29	金	分掌・学年部会(12・1月定例)	5時間授業
15	金	後期中間テスト	6時間授業	30	土		

※SCはスクールカウンセラー面談日です

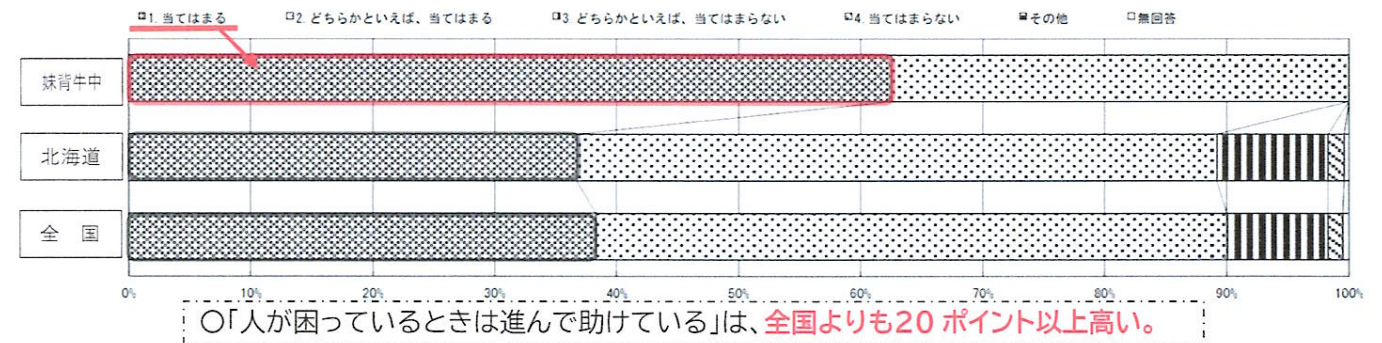
妹背牛中の取組

成長実感
自己を認める

令和6年度 全国学力・学習状況調査(3年)の結果をもとに

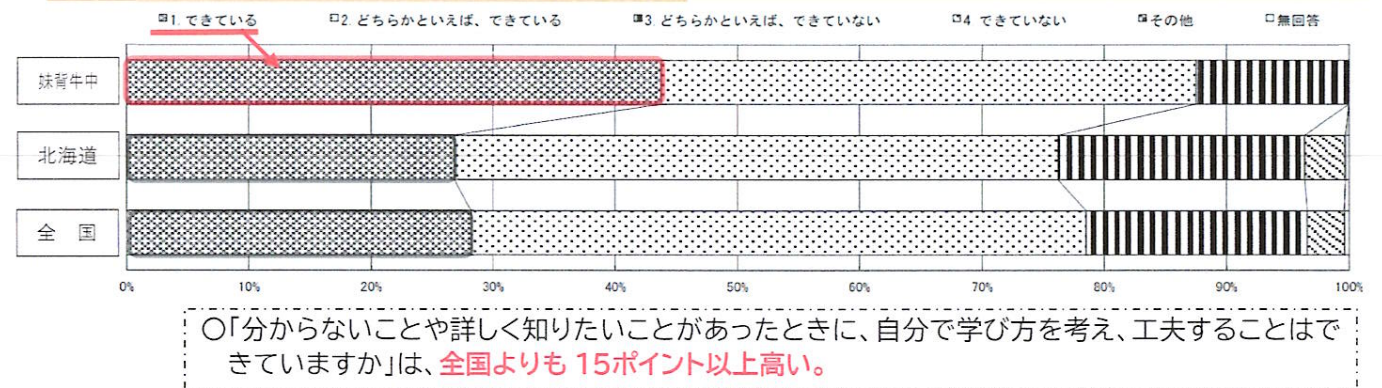
人が困っているときは進んで助けている

全国値と比較して良さが表れていると判断します



わからないとき自分で学び方を考えて工夫する

全国値と比較して良さが表れていると判断します



妹背牛中学校では、組織で行う生徒指導を重点としています。日常では、教職員からの挨拶や声かけ、励ましなど、生徒を尊重し発達を支える「発達支持的生徒指導」を進めています。また、「そんなこと」など矮小化して判断をしたり、恣意的に問題の原因を決めつけたりすることのないよう、学年団と校内組織との確実な連携の実施に努めています。後期も、学級、学年、生徒会、部活動等それぞれの生徒の関わりを組織で複合的にとらえ、生徒が抱く不安や悩みを決して見逃さないよう、日常の生徒につく指導に取り組むことを全教職員で共通に生徒指導を進めていきます。